

農学の夕べ

◆第1回 10/6(木)

「トウガラシ・パプリカの辛味と色の遺伝子を探る」

植物機能開発学コース 准教授 笹沼 恒男

◆第2回 10/13(木)

「ドローンと無人ヘリを活用した近未来の稲作システムの開発～未来の豊かな農業を先進技術でサポート～」

安全農産物生産学コース 教授 藤井 弘志

◆第3回 10/20(木)

「油脂の科学」

食品・応用生命科学コース 准教授 井上 奈穂

◆第4回 10/27(木)

「米由来副産物、廃棄物の再資源化に関する最近の動向」

食品・応用生命科学コース 准教授 渡辺 昌規

◆第5回 11/10(木)

「海岸林の生態系サービスの現状と課題」

森林科学コース 教授 林田 光祐（農学部長）

現代の農学の対象は、食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広くなっています。そんな農学を広く皆さんに知っていただきたいと考え企画しました。事前申し込みは不要です。興味のあるテーマがございましたら、ぜひお気軽にお越しください。

日時：平成28年10月6日(木)～11月10日(木)
午後6時～7時30分 全5回

会場：山形大学農学部講義室
◆2号館2階202講義室◆

受講料：無料（申込み不要）

《お問い合わせ》 山形大学農学部企画広報室

TEL:0235-28-2803 E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

開講日	講義テーマと概要	担当教員
第1回 10月6日(木) 202講義室	<p>「トウガラシ・パプリカの辛味と色の遺伝子を探る」 トウガラシは中南米原産のナス科作物で、辛くないピーマンやパプリカもトウガラシの一品種です。最近の研究で、トウガラシやパプリカの特徴である辛味とカラフルな果実色の原因遺伝子がわかってきました。この講義では、今年ペルーで行われた国際トウガラシ学会で最優秀賞を受賞した私たちの研究成果も含め、トウガラシの辛味と色の遺伝子に関する最新の研究内容を紹介します。</p>	笹沼 恒男 (植物機能開発学 コース)
第2回 10月13日 (木) 202講義室	<p>「ドローンと無人ヘリを活用した近未来の稲作システムの開発～未来の豊かな農業を先進技術でサポート～」 山形大学農学部とコニカミノルタ株式会社、ヤンマーヘリ&アグリ株式会社は農業界と経済界が連携し未来の豊かな農業を先進技術でサポートすることを目指してコンソーシアムを設立し共同研究を行ってきました。その成果として、ドローンに搭載したマルチカメラで空撮した画像を用いて稲の生育状況(葉色、茎数等)を評価した「圃場のばらつきマップ」を作成し、「ばらつき」に対応した可変施肥を無人ヘリにより行うシステムを開発しました。</p>	藤井 弘志 (安全農産物生産 学コース)
第3回 10月20日 (木) 202講義室	<p>「油脂の科学」 近年のダイエットブームや生活習慣病罹患者の増加にともなって、「油脂＝カロリーが高く、カラダに悪いもの」というイメージを持っていませんか？油脂(脂肪酸)には良いものも悪いものもあります。また、様々な機能性を有するものも存在します。ここでは、油脂にまつわるトピックスや油脂(脂肪酸)の機能性に関する研究内容について紹介します。</p>	井上 奈穂 (食品・応用生命 科学コース)
第4回 10月27日 (木) 202講義室	<p>「米由来副産物、廃棄物の再資源化に関する最近の動向」 庄内は日本有数の米どころであり、米に関わる産業が古くから根付いております。現在、米の加工時に様々な米副産物が生成し、あらゆる用途で利用されております。本講義では、米加工副産物の詳細とその利活用ならびに、その最新の動向について広く講義します。</p>	渡辺 昌規 (食品・応用生命 科学コース)
第5回 11月10日(木) 202講義室	<p>「海岸林の生態系サービスの現状と課題」 海岸地域の飛砂や潮風、津波から私たちの生活を守ってくれていたクロマツ海岸防災林が現在大きな転機を迎えています。私たちが海岸林に求めている多様な生態系サービスを楽しむことができる海岸林とはどのような森林で、そのためにはどのような技術やコストが必要なのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>	林田 光祐 (森林科学コース)

※全講義、2号館2階202講義室での開催となります。

